

symposium

持続可能社会法学の 方法と主要論点



持続可能社会法学を提唱されてきた棚澤能生教授（早稲田大学法学学術院）の古稀を記念してシンポジウムを開催します。この可能的法学研究領域の出発点を確認しながら、今後、行われるべき研究の方法や主要論点を明らかにすることを目指します。

日時 2024年6月22日(土) 13:00～17:15

場所 大隈記念小講堂（早稲田大学）

※事前登録は不要です。
直接会場までお越しください。

program -プログラム-

総合司会 文 元春（早稲田大学）
開催の挨拶 岡田 正則（早稲田大学比較法研究所所長）
企画趣旨説明 高村 学人（立命館大学）

第一部

持続可能社会法学にむけた ドイツからの示唆

司会 大西 楠 テア（東京大学）

- 「ナチ時代における所有権論と現代農地法学」
- 「法化論から考える農業法学の課題」

森田 匠（早稲田大学大学院）
亀岡 鉦平（大分大学）

第二部

持続可能社会法学の方法と 法社会学・開発法学

司会 緒方 賢一（高知大学）

- 「法社会学による村落社会研究の方法と到達点」
- 「開発法学において『法の普遍性とコンテクスト』はどのように理解されてきたか？」
- 「持続可能社会法学における所有権概念の再定位」

久米 一世（中部大学）
桑原 尚子（岩手県立大学）
杉田 和正（早稲田大学）

第三部

持続可能社会法学の未来

司会 渋谷 謙次郎（早稲田大学）

- 「報告へのリプライ」
- 総合討論

棚澤 能生（早稲田大学）



主催：早稲田大学比較法研究所・共同研究「持続可能社会法学」

*なおシンポ終了後に棚澤先生の古稀祝賀会を開催します。こちらについては事前の参加登録が6月3日までに必要です。詳しくは、<https://jp.surveymonkey.com/r/sustainableparty> かQRコードをご覧ください。

